

1 調査概要

本調査は、大田市の若者の流出を食い止め、将来的にUターンしたくなる大田市の将来像を描くため、今後のまちづくりに関する意見について、次世代を担う若者から把握し、第3次大田市総合計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 調査期間  | 令和7年9月中旬～10月上旬     |
| 調査対象  | 市内の中学校・高等学校の2年生全生徒 |
| 調査方法  | webアンケート（各学校に依頼）   |
| 有効回収数 | 中学生212人、高校生165人    |

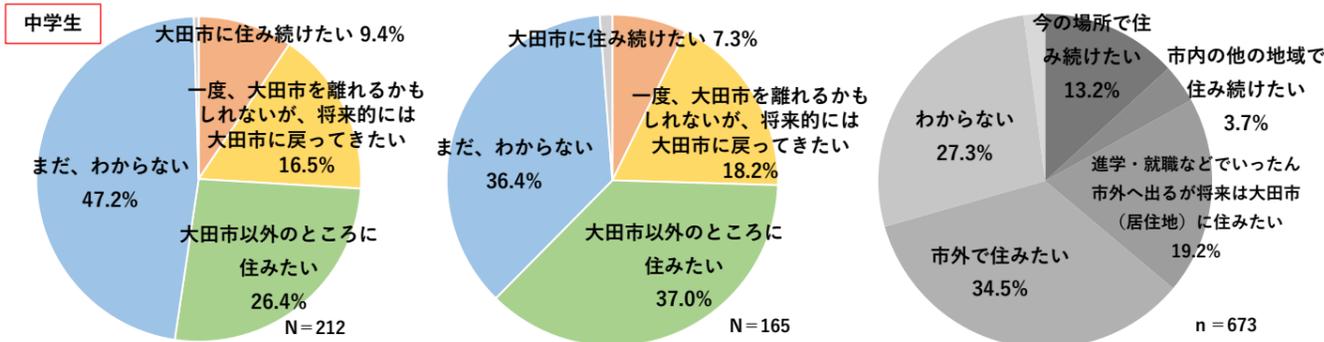
※北三瓶中学校の2年は全て県外生（山村留学生）のため調査を行っていない。

| 学校名         | 回答数 | 構成比    |
|-------------|-----|--------|
| 第一中学校       | 115 | 54.2%  |
| 第二中学校       | 50  | 23.6%  |
| 志学中学校       | 2   | 0.9%   |
| 第三中学校       | 3   | 1.4%   |
| 大田西中学校      | 41  | 19.3%  |
| 出雲養護学校大田分教室 | 1   | 0.5%   |
| 中学校 計       | 212 | 100.0% |
| 大田高等学校      | 105 | 63.6%  |
| 邇摩高等学校      | 56  | 33.9%  |
| 出雲養護学校邇摩分教室 | 4   | 2.4%   |
| 高等学校 計      | 165 | 100.0% |

2 調査結果

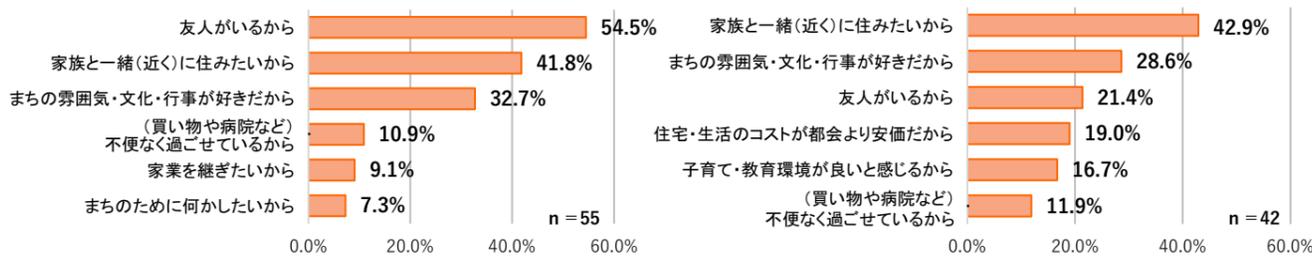
(1) 定住の意向

① 将来の定住の意向 問4 SA

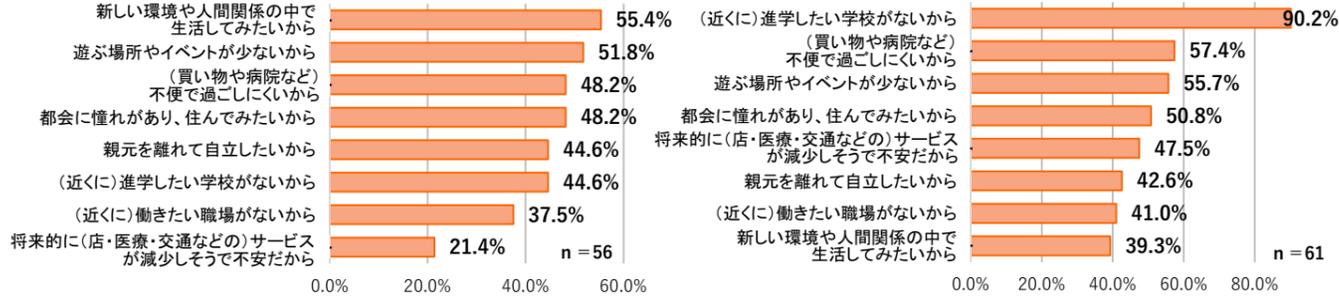


- 「市外に住みたい」が中学生では26.4%、高校生が37.0%と高校生が高くなっている。
- 高校生では「最終的には大田市に住みたい（住み続けたい+戻ってきたい）」より「市外に住みたい」のほうが10ポイント以上高い。
- 「最終的には大田市に住みたい」高校生は前回調査より10ポイント以上低下している。

② 住みたい（戻りたい）理由



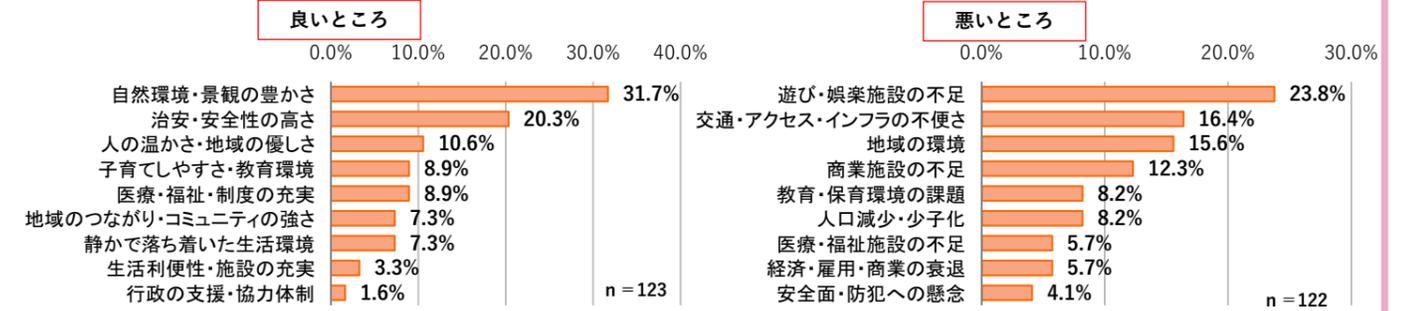
③ 大田市以外に住みたい理由



- 住みたい（戻りたい理由）は中学・高校とも、「友人」「家族」「まちの雰囲気などが好き」が上位にきた。
- 大田市以外に住みたい理由は、中学生は「新しい環境の中で生活したい」「娯楽が少ない」「不便」「都会への憧れ」「親元を離れたい」「(近くに)進学したい学校がない」。高校生は9割が「(近くに)進学したい学校がない」。

(2) 大田市の子育て環境の評価（高校生の回答）

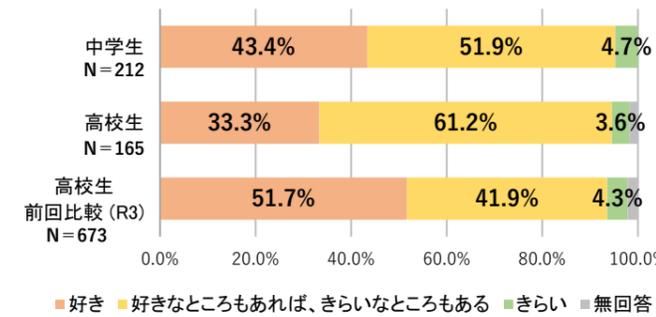
④ 大田市での子育ての良いところ・悪いところ 問9 自由記述



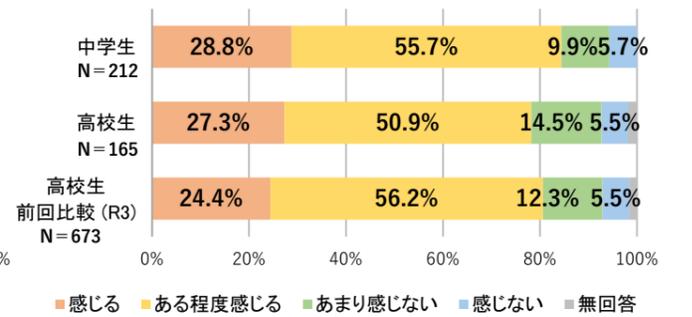
- 評価されているのは「自然環境・景観」「治安」。悪いところは「娯楽の不足」「交通の不便さ」。

(3) 大田市への愛着や誇り

⑤ 大田市が好きかどうか 問10 SA



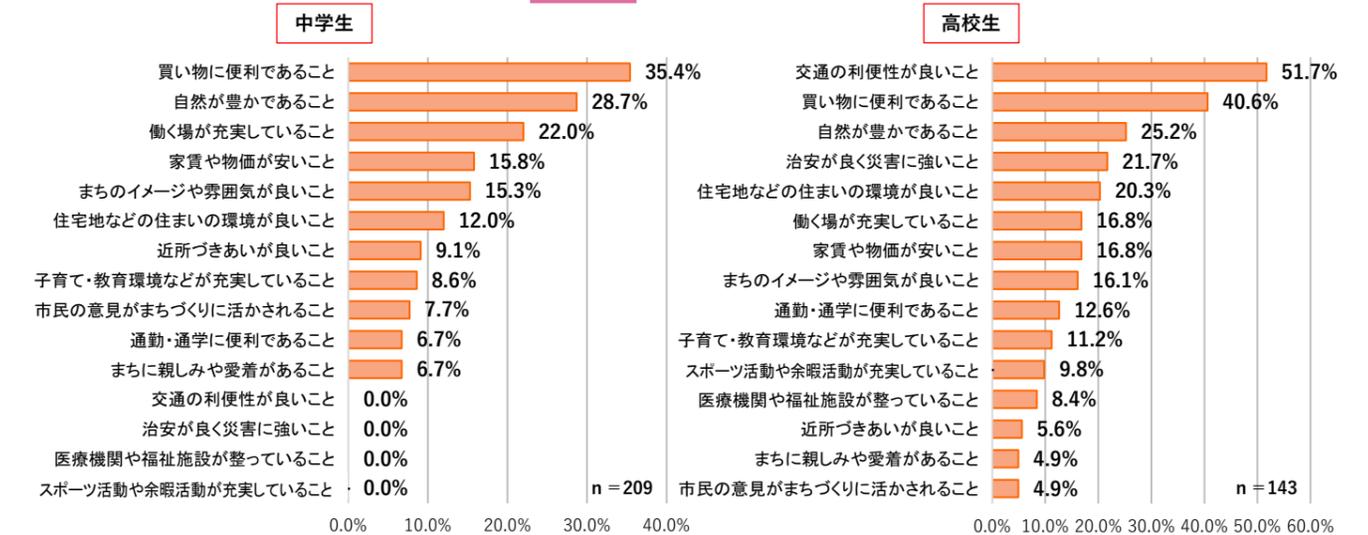
⑥ 大田市に愛着や誇りを感じるか 問12 SA



- 中学生は高校生より大田市が「好き」という回答が多かった。高校生は前回と比較すると「好き」が18.4ポイント減少している。
- 大田市への愛着・誇りでは、中学生・高校生とも「感じる」「ある程度感じる」が約8割を占めた。高校生は前回と比較すると「感じる」が2.9ポイント増加、「ある程度感じる」が5.3ポイント減少している。

(4) 大田市に住み続けていく上で重要なこと

⑦ 大田市に住み続けていく上で重要なこと 問13 MA



- 中学生の上位3項目は、「買い物の利便性」「豊かな自然」「働く場の充実」。
- 高校生の上位3項目は、「交通の利便性」「買い物の利便性」「豊かな自然」。
- 高校生では「交通の利便性」「買い物の利便性」が特に高くなっている。